

奥多摩町の教育

第216号
発行
奥多摩町教育委員会

令和元年6月1日現在	
児童数	144名
生徒数	76名
教職員数	45名

**奥多摩町教育委員会の
教育目標と方針について**

奥多摩町教育委員会では、憲法、教育基本法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、その他の教育関係諸法令並びに東京都教育委員会の方針等に基づき、町の現状と課題を踏まえて、教育目標と方針を定めています。

本年度、最初の発行にあたり、皆様に改めてお知らせするとともに、子どもたちにとって将来を見据えたより良い教育環境の実現のために教育行政を推進してまいります。

(1) 教育目標

「住みたい 住み続けたい みんなが支える癒しのまち 奥多摩」をまちづくりのキャッチフレーズとする町の第5期長期総合計画を指針とし、次代の町を担っていく人材の育成を最重

点課題とし、知・徳・体の調和のとれた人間を育てるため、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育成する教育を推進し、子どもたちの「生きる力」を育む。

そのために、学校、家庭、地域が連携し、だれもが生涯を通じて、学び、支え合うことのできる地域社会の実現と、まちづくりの基本方針の1つである「町の中と外から関心をもたれる教育のまちづくり」を推進する。互いの人格を尊重し、心身ともに健康で、かつ、知性、感性、道徳心に富んだ豊かな人間性身に付け、広く国際的視野と社会に貢献しようとする意識をもった町民の育成に努める。

自ら学び、自ら考え行動する個性と、創造力豊かな人間の育成に向け、学校教育、社会教育を充実し、生涯にわたって学習の場が得られるよう教育行政を推進する。

町の基本構想を指針とし、長期的展望に立って教育・文化・体育等の諸施策の充実に努め、町民憲章に定める目標の実現を目指す。

(2) 基本方針

奥多摩町教育委員会は「教育目標」を達成するために、以下の基本方針に基づき、教育施策を推進する。(各方針の説明については、抜粋してあります。)

○ **基本方針1 「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成**
子どもたちが、自尊感情をもち、全ての命を大切にし、人を思いやり、社会の決まりを身に付けて健やかに成長できるように、郷土を愛し、自立した個人を育てる教育を行う。

○ **基本方針2 「確かな学力の定着」と「個性や創造力の伸長の推進**

確かな学力の定着と、個性と創造力を伸ばす教育を実践することにより、グローバル化社会、情報化社会に対応することができる子どもを育成する教育を推進する。

○ **基本方針3 「総合的な教育力」と「生涯学習」の充実**
家庭・学校・地域の教育力を高め、その連携の推進を支援するとともに、町民が生涯を通じて、自ら学び、文化・スポーツに親しみ、社会参加の機会の充実を図る。

○ **基本方針4 「町民の教育参加」と「学校経営の改善」の推進**
地域の特性を踏まえた広域的な視点に立つ教育行政を進めるとともに、町民に信頼される魅力ある学校づくり、開かれた学校づくりを目指した学校経営を支援する。

○ **基本方針5 「伝統文化の保存」と「郷土愛育成」の推進**
郷土を知り、郷土を愛する心を育成し、町の発展に寄与しうる町民を育てる。



教育委員と原島幹典氏就任



教育委員 原島 幹典

教育委員の三富隆行氏が昨年12月31日で辞職され欠員となつていましたが、その後任に原島幹典氏(南氷川)が3月の定例町議会において議会の同意を得て、3月6日付で教育委員に任命されました。

なお、任期は三富氏の残任期間の令和3年9月30日までとなります。

教育委員会の動き

- ◎11月定例会(11月28日)
・議案第27号―専決処分承認を求めることについて(平成30年度生徒の教育課程について(届))
◎12月定例会(12月19日)
・議案第28号―教育委員辞職の同意について
◎1月定例会(1月24日)
・議案第1号―専決処分の承認を求めることについて(平成30年度

児童の教育課程について(届)

◎2月臨時会(2月13日)

- ・議案第2号―奥多摩町立学校長の任命について
◎2月定例会(2月28日)

・議案第3号―平成31年度教育関係予算の意見聴取について他2議案

- ◎3月定例会(3月22日)
・議案第6号―平成31年度教育課程の承認について他1議案

◎4月定例会(4月19日)

- ・議案第8号―専決処分の承認を求めることについて(平成31年度児童生徒の教育課程について(届)他3議案

小留浦地区の暮らしと獅子舞の記録書が発刊されました

奥多摩の風土と小留浦地域の暮らし・歴史・文化・仕事・食生活・神仏・祭事・山祇神社・獅子舞の記録等を青梅市在住で小留浦地域にゆかりのある中原照雄氏がまとめ、自費出版されました。これを記念し、町へご寄贈いただきました。古里・氷川の各図書館に備えてありますのでご覧ください。

平成31年度 教職員の人事異動がありました

Table with columns: 学校名, 転出者 (担当, 氏名, 新任校等), 転入者等 (担当, 氏名, 前任校等). Rows include 古里小, 氷川小, 奥多摩中, and 奥多摩町教育委員会.

◎氷川小の光武和香子教諭の産育休代替で、小山裕美子教諭が青梅市・霞台小学校より着任されました。

古里小学校に着任して



古里小学校 校長 拝原 茂行

平成から令和へと時代が変わるこの記念すべき年に、古里小学校の校長として着任させていただきます。私は、平成21年度から5年間、町教育委員会に勤務させていただきました。当時、お世話になっていた方々と、再び一緒に働かせていただけることを大変心強く感じております。

副校長として



奥多摩中学校 副校長 石井 淳

4月16日付で、奥多摩中学校副校長に着任しました。前日までは立川で人の波に流されながらの通勤でしたが、一転、自然に囲まれながら、清々しい気持ちで出勤しています。奥多摩中学校の第一印象は、明るく素直な生徒が多いということです。先生方も温かく、生徒一人ひとりと向き合っていると感じました。それゆえに生徒たちがのびのびと安心して学校生活を送れているのだと思います。

私の役割は、今の奥多摩中学校の教育活動をさらに発展させていけるように、学校のおかれている環境を整えることだと考えています。生徒と、保護者の皆様、地域の方々、そして先生方のために、微力ではありますが頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

奥多摩町の力に



教育委員会 指導主事 安部 隆

小平市の小学校より異動してきました安部 峰（あべたかし）です。

庁舎から周りを見渡せば、目に飛び込んでくる自然。緑溢れる山に、どこまでも透明な多摩川の流れ。吹く風も清々しさを運んできます。このような美しい環境で育つことのできる子どもたちは本当に幸せだと感じます。自然環境に恵まれているからこそ、より一層学習環境を整えることが私の責務だと受け止めています。奥多摩町の良さを愛する子どもたちを育成する力になっていければと考えます。

奥多摩町に赴任して2か月。多くの方の温かさに触れ、助けられています。感謝の気持ちでいっぱいです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

元気の素!! 奥多摩!!
古里小学校 北村 朋子

平成最後、令和元年という歴史的な年に、江東区立香取小学校から奥多摩町立古里小学校に着任しました北村朋子と申します。登山が好きで、奥多摩を訪れる機会は多くありましたが、やはり、生活してみないと本当の魅力は分からないものだと痛感している毎日です。

奥多摩の大自然と古里小学校の児童や教職員・地域の皆様にお癒され、仕事で疲れても翌日には元気になっていく日々です。こんな素敵な奥多摩から毎日いただいているパワーを、子どもたちの為、地域の為に精一杯発揮させていただきたいと心から思っています。よろしくお願いいたします。

居を移して思うこと
古里小学校 中山 伸也

文京区立柳町小学校より転任してまいりました。中山伸也と申します。理科・特別支援を担当いたします。こちらの方に住まいを移し生

活する中で、日々この地域の素晴らしさを感じております。鳥のさえずりで目覚める朝。梅郷の神代橋から見る多摩川の流れ。通勤途中の青梅線の車窓…。

この恵まれた自然環境の中で、様々な事象に触れ、理科の楽しさを体験的に味わえる学習活動を展開していきたいと考えております。その際には、折々ご家庭や地域のお力添えをいただきたく場面もあるかと思いますが、あたたかいご支援をいただければ幸いです。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

奥多摩町に赴任して

古里小学校 森井 明子

今年度、立川市立西砂小学校より着任いたしました。前任校は立川ですが、私自身は生まれも育ちも奥多摩の隣の青梅です。幼い頃、川で遊んだり、丹三郎にあったプールで泳いだり、奥多摩には楽しい思い出がいっぱいです。そんな場所で仕事ができることを、大変うれしく思っています。

古里小学校に赴任し、まだ日は浅いですが、児童みんなが仲

良く、とても温かい雰囲気を感じています。

早く児童の名前を全員覚え、子どもたちへの理解を深め、精一杯指導にあたりたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

2校目の奥多摩の学校

古里小学校 市川 祥子

7年前に氷川小に希望して赴任しました。多分教員生活最後の学校になると思つて選んだ職場です。奥多摩の自然や人の温かさに、子どもたちとかわりたくて、気が付いたら8年目、まさか町内の小学校を2校も経験することができるとは思つていませんでした。

古里小学校で、また新たな気持ちで奥多摩の子どもたちとかわりながら、一日一日を過ごしていけたらと思つています。

町内すべての子どもたちと知り合いになれば、一緒に過ごせることは望んでもかなうことではないので、感謝しています。今年目標は「楽しく、元気に。」です。

よろしくお願いいたします。

海から山や川へ

古里小学校 東 佑太郎

この度、三宅島の三宅村立三宅小学校より、奥多摩町立古里小学校に赴任してまいりました。東佑太郎と申します。

海に囲まれた自然豊かな三宅島から、また自然に囲まれたところで仕事ができばと思つていましたので、とても嬉しく思っています。とはいえ、海と山や川という大きな違いがあるため、様々なことがとても新鮮で勉強の毎日です。

私が今まで経験してきたことが、少しでも奥多摩の子どもたちの成長の一助となれば幸いです。私自身まだまだ勉強中の身ですので、子どもたちと一緒に成長していければと思つています。どうぞよろしくお願いいたします。

懐かしいふるさと

古里小学校 小鷹 二郎

青葉が目眩しい季節です。毎日清々しい気持ちで古里小学校に出勤しています。私は以前、古里中学校に勤務していました。

部活動の顧問をしていたこともあり、生徒たちとても楽しく過ごしていたことを懐かしく思い出しています。

奥多摩の魅力はたくさんあり語り切れませんが、私が特に感動したのはカヌーに乗った時の景色です。ローインパクトに自分の力だけで自然の懐の奥深くまで入っていきける世界です。私も歳を重ねました。カヌーから見える水面からの視点同様、さまざまな位置から物事を見つめて仕事に取り組んでいきたいと思つています。

豊かな自然と素直な子供

氷川小学校 大久保有彩

はじめまして。縁あって今年度氷川小学校に転任してまいりました。大久保有彩と申します。

毎朝雄大な山々を眺め、深呼吸しながら通勤しています。そこで育った子どもたちもまた素直で明るく、気持ちの良い子たちだと感じています。

この春には、満開の桜、その桜にかかる雪を見ることができました。これから、奥多摩町の四季の移り変わりを楽しみつつ、

素直な子どもたちと元気いっばいに過ごすことが楽しみです。子供たちがますます成長していけるよう、保護者の方々、地域の方々と力を合わせて教育活動に励んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

奥多摩町に着任して

氷川小学校 國井 樹貴

4月より、氷川小学校に着任しました國井樹貴（くにいたつき）と申します。昨年度まで神奈川県奈川県の相模原市で勤めていました。出身地はあきる野市です。自分が生まれ育った東京の地で勤務させていただけることを心よりうれしく思います。

奥多摩の小学校の子どもたちは、毎朝元気に挨拶をしてくれます。また、休み時間には友達と笑顔でかわる姿が多く見られ、本当に素敵だなと感じています。赴任して学校の中のことから分からない私に対しても素直に教えてくれ、毎日エネルギーをもらっています。子どもたちの瞳がさらに輝くように精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

奥能登から奥多摩へ

氷川小学校 作田 麻紀

石川県から異動してきました作田麻紀と申します。私の地元は、石川県能登半島の先端にあり「奥能登」と呼ばれています。「奥能登」から「奥多摩」へ、どこか名前に親しみを感じやってみて参りました。幼い頃から海に親しみ、自然豊かな土地で育ってきました。奥多摩では雄大な自然や、氷川獅子などの伝統文化に触れ、地域の良さを生かし、地域に根差した教育活動を行っていきたくです。

まだあまり地域の皆様にはお会いできていませんが、駅から学校までの道のりですれ違う地域の方々に、いつも温かい挨拶で迎えていただき、大変嬉しく感じております。精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

恵まれた環境の中で

氷川小学校 小山裕美子

氷川小学校に着任して、あっという間に2か月が過ぎました。1時間をかけての自動車での通

勤は大変ですが、道中の景色に毎日癒されています。

私は産育休代替で、色々な学校に行かせていただいておりませんが、氷川小学校では「初めて」のことが多く、新鮮な気持ちで毎日がとても楽しいです。

奥多摩のことは、まだまだ知らないことが沢山あります。この自然や人々に恵まれた環境の中で、明るく元気な子どもたちと共に、学んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

明るい学び舎

奥多摩中学校 鈴木 明莉

私が奥多摩中学校に赴任して、2か月が経ちました。明るく元気な生徒たちと共に学ぶことができ、日々幸せを感じています。

体育大会の練習のムカデ競争では、1年から3年までの生徒が互いに声を出しながら練習していました。他学年と共に活動する経験が、生徒同士の仲の良さに繋がっているのだと感じました。

私も、生徒が生き生きと学び

合える授業や、互いを思いやることができるクラスを作ることができるよう、力を尽くしたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

着任のご挨拶

奥多摩中学校 植松 寿行

今年度新規採用として奥多摩中学校に着任いたしました植松寿行と申します。出身は大阪府です。大阪から奥多摩町へという大きな環境の変化に戸惑いがありますが、毎日楽しく過ごしています。

さて、奥多摩中学校に勤務して早くも2か月が経ちました。毎日、先輩の先生方や生徒たちから学ぶ日々です。奥多摩中学校は、ICT機器の充実、全員支援教育など、素晴らしい教育環境が整っている学校であると思えます。この環境を最大限に生かし、子どもたちの成長をサポートしていきます。どうぞよろしくお願ひいたします。



奥多摩中学校に着任して

奥多摩中学校 菅原沙也花

4月より奥多摩中学校に着任いたしました。菅原沙也花と申します。1年生の副担任で、国語を担当いたします。

奥多摩中学校に着任して、早くも2か月が経ちました。出身は青梅市なので、奥多摩町にはどこか親近感をもっていました。が、実際に勤務し、自然豊かな風景や地域の皆様の温かさに触れて、初任校がこの町で良かったと日々感じております。

奥多摩町を愛する地域や職員の皆様と一緒に、子どもたちの成長を見守り、支援していきたいと思っております。微力ではございますが、精一杯頑張っていきます。これからどうぞよろしくお願ひします。



図書館より

新しい本のご紹介

一般書

彼女たちの場合は

江國 香織著 集英社

ていん鳥の記

仁木 英之著 講談社

帰還

堂場 瞬一著 文藝春秋

検事の信義

柚月 裕子著 KADOKAWA

児童書

ガムじいさん、

ゴブリンの王さまになる!?

アンディ・スタントン作 小峰書店

キリン キリンの山のぼり

茂市 久美子作 講談社

うさぎくんとママ

リチャード・スキヤリー作 好学社

イライラくんとこえだちゃん

レモニー・スニケット文 評論社



教育相談室へようこそ

教育相談室長

石上 和伸

「福祉会館2階に、教育相談室があるんだって」「教育って学校のこと?」「最近忙しくてなかなか子どもと話せなくて...」「うちはゲームのし過ぎ。こんなことも相談できるのかな。」ご家庭をはじめ保育園や学校、社会教育で子どもと歩む人々にとつて、子どもが成長し自立していく姿は大きな喜びです。

一方で成長には、さまざまな困難も伴います。子ども自身も含め一人で担うには重すぎる、時にはそのように感じることもあるでしょう。

教育相談室では、福祉や心理、教育などに知見のある3人のスタッフが、お子さんやご家族についての心配や不安など、ゆっくりお話を伺いいたします。

すぐに解決策が見つからないくても、一緒に考え悩みご苦労を分かち合うことはできます。来室が難しい場合も、電話等でご相談ができます。ご自宅にお伺いすることもしています。どうぞお気軽にご相談ください。

奥多摩町教育相談室

【場所】

奥多摩町福祉会館2階

【開室日】

月〜金曜日 午前9時〜午後4時
(土・日・祝日・年末年始はお休み)

【相談の形】

○来室相談

○電話・メール相談

※来室相談は、電話、FAX、メール等で予約をお願いします。

【相談例】

・学校生活や日常生活でのお子さんへの心配

(学校にいけない、登校渋り、友達と上手く遊べない、困った癖があるなど)

・お子さんの発達に関するご相談

(言葉の理解や発達が遅い様に感じる、勉強に意欲が出ない、学力面について)

【その他できること】

・福祉手当やサービス、相談機関、医療機関などのご紹介

・お子さんへの指導・支援など

【電話】83-12340

【FAX】83-12551

【メール】okisoutan@town.okutama.tokyo.jp

平成30年度奥多摩町学校給食センターの運営と決算報告

平成30年度は、年間給食回数、小学校190回・中学校193回を実施し、総食数は56,817食（小学校35,966食、中学校20,851食）を提供しました。前年と比較すると1,078食増加しました。

栄養面では、全体にバランスのとれた内容になるよう献立を工夫し、旬の素材を使用した、できるだけ手作りの給食を提供するように努力しております。また、調理後短時間で提供できるように努め、衛生面には特に注意を払っております。

給食費については、小学校は月額、低学年（1・2年生）3,800円、中学年（3・4年生）4,100円、高学年（5・6年生）4,400円、中学校は月額5,300円として運営しました。保護者の皆様からいただいた給食費は全て食材料費として使われ、1食当たりの食材料費は約270円となりました。また、収支差引残額については、食材料の価格変動等があることから、次年度に繰越しをさせていただいております。

食材料費以外の人件費、光熱水費等については、全て町で負担しております。なお、町では、子ども・子育て支援推進事業の一環として、給食費の全額助成を行っており、保護者の皆さまには一旦納入をお願いいたしますが、後から助成が行われております。

平成30年度奥多摩町学校給食センター会計収支決算書

自平成30年4月 1日

至平成31年3月31日

(単位:円)

収入の部

科 目	予 算 額	収入済額	比較増△減	説 明
1 給食費	15,038,580	15,136,450	97,870	
1児童給食費	6,544,080	6,496,880	△ 47,200	古里小 3,742,800 氷川小 2,703,680 過年度分 50,400
2生徒給食費	4,489,100	4,393,700	△ 95,400	奥多摩中 4,393,700 過年度分 0
3職員給食費等	4,005,400	4,245,870	240,470	古里小 1,188,560 氷川小 1,073,200 奥多摩中 1,324,600 センター 575,500 試食等 84,010
2 繰越金	359,459	359,459	0	
1繰越金	359,459	359,459	0	前年度繰越金
3 雑収入	661	1,974	1,313	
1雑収入	661	1,974	1,313	預金利子・親子料理教室食材料費
合 計	15,398,700	15,497,883	99,183	

支出の部

科 目	予 算 額	支出済額	比較増△減	説 明
1 主食費	1,857,000	1,912,441	55,441	
1パン類費	467,000	521,193	54,193	古里小30回、氷川小31回、奥多摩中28回
2麺類費	224,000	203,226	△ 20,774	古里小16回、氷川小16回、奥多摩中16回
3米穀費	1,166,000	1,188,022	22,022	古里小144回、氷川小143回、奥多摩中149回
2 副食費	10,477,000	10,173,639	△ 303,361	
1副食費	10,477,000	10,173,639	△ 303,361	小学校190回、中学校193回
3 牛乳費	2,847,000	3,064,342	217,342	
1牛乳費	2,847,000	3,064,342	217,342	小学校190回、中学校193回
4 返還金	10,000	9,438	△ 562	
1返還金	10,000	9,438	△ 562	
5 手数料	0	0	0	
6 予備費	207,700	0	△ 207,700	
合 計	15,398,700	15,159,860	△ 238,840	

収支差引残金

338,023 円

郷土奥多摩(文化財)

その13

金属の文化財

文化財保護審議会会長 石田 充法

奥多摩町の有形文化財をその素材別に、前回は郷土奥多摩その7で「石」に視点を置きましたが、今回は「金属」の文化財を、特に鰐口と古鏡(和鏡)を紹介したいと思います。

まず鰐口ですが、ご承知のようにこれは神社仏閣の正面軒下に吊るされ、参拝者が祈願前に太い紐を振って打ち鳴らす鳴らしものです。鰐口の名前は爬虫類のワニではなく鮫(古名はわに)の口に似ていることからその名がついたようです。町内にある鰐口を古い順に紹介します。

- 一 棚沢 多名澤神社
文和3年(1354年)
- 二 小菅 伽藍明神社
文安2年(1445年)
- 三 倉沢 太神宮
文安2年(1445年)
- 四 大沢 薬師堂
文明14年(1482年)
- 五 大丹波 白髭神社

延徳2年(1490年)以上五点のいずれにも「武州柚保」の文字が刻まれています。柚保は羽村付近より多摩川上流(及び埼玉県入間川上流)の地方を総称した中世の地名です。



写真の白髭神社の鰐口表裏には、「武州柚保 大玉村白髭大明神延徳2年12月日 又四郎白」という銘の外に「敬白奉懸香取大明神」「下総国下河辺荘上高野」「応永33年(1426年)」と刻されており、(したがって古さは二番目となります) 白髭神社に納められる64年前に現在の千葉県八千代市上高野の香取大明神に奉納されていたことがわかります。当時この地方と何らかの繋がりがあったのか括目に値します。

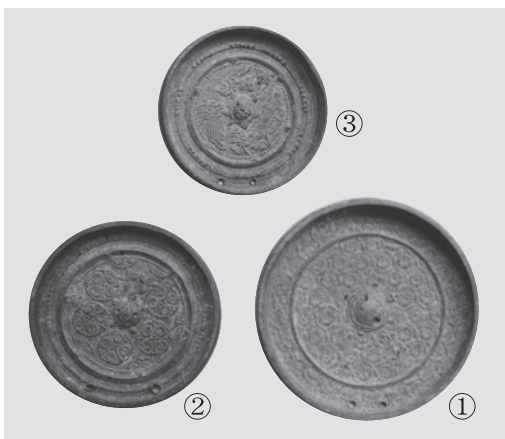
次に、古鏡を紹介します。年号が令和にかわり皇位継承に伴い三種の神器(剣・曲玉・鏡)

等が継承されました。

鏡は古より特別なものとされ、ご神体として神社に祀られたり、仏像の光背につけられたものが今に残っています。町二ヶ所の文化財の古鏡を紹介します。

一 大丹波 白髭神社の古鏡

- ① 亀甲地菊花双雀文鏡 径11.9cm、厚さ1.2cm。表面に針書による神像がみえるともいわれ、魔鏡(反射した先に鏡裏の模様が映し出る不思議な鏡)に似た機能を持たせようとしたものか興味をそそられます。
- ② 団菊文散双雀鏡 径9.8cm、厚さ0.8cm。
- ③ 松樹双雀文鏡 径9cm、厚さ0.8cm。



三面共にご神体として掲げるためと思われる後穴が二つずつ空けられています。

二 日原鍾乳洞出土の古鏡



洞内から出土した古鏡は六面ありました。日原鍾乳洞が一石山大権現として神格化され、大日の浄土として信仰されていた時代に奉納されたもので、古銭と共に出土しました。

以上の古鏡はいずれも製作年代は室町時代前期と思われる、縁が厚高なものが多く手持ちのための紐を通す穴が空いた突起(紐座)が中央にあります。奥多摩町に現存するこれら中世の古鏡は、東京都においても数が少なく、中世の文化財として貴重なものといえます。